

令和元年度

学校評価計画



徳島県立徳島北高等学校

保護者の皆様におかれましては、日頃から本校の教育活動に格別の御支援をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、本年度の学校評価計画を作成しましたので御覧ください。これは、「学校経営の基本方針」及び「本年度の重点目標」に沿って各担当がそれぞれの分野において計画を立てたものの抜粋です。本年度も、この計画に従って全教職員が協働して教育活動に取り組んでまいります。また、年度末にはその取組についての評価を行い、結果については公表する予定です。

なお、評価の作成につきましては、アンケート調査などを通じて保護者の皆様の御意見をお聞かせいただこうと考えていますので、御協力くださいますようお願いいたします。

令和元年5月18日

徳島県立徳島北高等学校長

- 「学校評価」とは -

各学校が、自らの教育活動その他の学校運営について、めざすべき目標を設定し、その達成状況や達成に向けた取組の適切さ等について評価することにより、学校として組織的・継続的な改善を図ることをねらいとするものです。

- 「学校経営の基本方針」 -

生徒がはつらつと活動する活力ある学校づくりと保護者・地域社会から信頼される学校づくりに取り組む、「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」を身に付けることができる教育の実現に努める。

- 「本年度の重点目標」 -

- (1) 自ら学ぶ姿勢と自主的・自律的な行動力を育成する。
- (2) 人権を尊重する豊かな心を育成し、好ましい人間関係を築かせる。
- (3) 授業の工夫・改善と充実に努め、確かな学力を身に付けさせる。
- (4) 生徒一人一人の個性や創造性を伸長させて、進路希望の実現をめざす。
- (5) 国際的視野を持ち、地域社会に貢献できる人材を育成する。

生活習慣・交通安全指導

- (重点目標)**
- 1 生活習慣(服装頭髪の整正, 時間厳守, 挨拶の励行)の確立, 健全な生活態度を育成する。
 - 2 交通ルールを遵守させ, 安全意識の向上を図る。
 - 3 携帯電話等の安全な使い方を通して, 情報モラルの育成を図る。
- (評価指標)**
- 1 ①頭髪・服装の違反者を減少させ, 再点検指導の生徒の割合が1%以内である。
②遅刻者数が昨年度より5%減少である。
③教員による登校指導を月1回, 生徒による「あいさつ運動」を学期に1回実施する。
 - 2 自転車交通事故件数が10件以下である。
 - 3 携帯電話の安全な使い方についての講演会を1回以上実施する。
- (活動計画)**
- 1 ①月初めのクラス単位の服装頭髪点検, 学期初めの学年一斉指導を実施する。全職員による常時指導を徹底する。
②遅刻指導週間を実施するとともに, 多遅刻生徒の指導を徹底する。
 - 2 ①登校指導を月1回以上, 徳島北署やPTAとの合同指導を3回実施する。
②交通事故の状況について, 職員・生徒・保護者の共通理解が図れるようにする。
③交通安全講話を実施する。
 - 3 各関係機関と連携し, 携帯安全教室を行い, 情報社会におけるモラルを身に付けさせる。



人権教育

- (重点目標)**
- 1 ホームルーム活動(人権)の他, 委員活動や日々の活動など様々な機会を捉えて生徒の人権意識の高揚を図り, 啓発活動に努める。
 - 2 全職員でいじめ防止をはじめとする人権教育の充実に取り組む。
- (評価指標)**
- 1 ①「人権意識が高まった」と答えた生徒の割合が80%以上。
②「人権委員会だより」を読んでいる生徒の割合が60%以上。
 - 2 ①「いじめは人間として許されない」と100%の生徒が認識している。
②「学校は好ましい人間関係構築のため行事やホームルーム活動・授業に真剣に取り組んでいる」と答えた生徒の割合が90%以上。
- (活動計画)**
- 1 ①ホームルーム活動(人権)や行事等で, 自分の意見を発言し, 他人の意見もしっかり聞くことができるなど, 生徒に主体的に参加・体験をさせる。
②「人権委員会だより」を生徒主体で作成し, ホームルーム活動などを利用して, 人権委員に朗読させるなど生徒主体の活動を実施する。
 - 2 ①お互いの人格を尊重し合える校内環境をつくるため, ワークショップや講演会などを実施する。
②生徒一人一人を尊重し, 面談等を実施し, いじめ防止に取り組む。

学校行事・生徒会活動・部活動

- (重点目標)**
- 1 学校行事(学校祭・球技大会等)の活性化を通して, 生徒の自主的・自律的な行動を育成する。
 - 2 ホームルーム活動や部活動における友好的な人間関係の構築を中心に, 豊かな心を育成する。
 - 3 部活動の活性化を通して, 生徒一人一人の個性や創造性を伸ばさせ, 何事にも積極的に取り組む態度を育成する。
 - 4 国際的視野を持ち, 国際社会や地域社会に貢献する姿勢を育成する。
- (評価指標)**
- 1 学校行事に自主的・積極的に取り組むことができた」と回答した生徒の割合が80%以上である。
 - 2 ①「学校行事や部活動に友人や仲間と協力して取り組み, 友好的な人間関係を築くことができた」と回答した生徒の割合が80%以上である。
②「望ましい人間関係を構築できている」と回答した教員及び保護者の割合が80%以上である。
 - 3 「部活動は学校生活を充実させるものとなっている」と回答した生徒の割合が80%以上である。
 - 4 地球市民講座で「国際的視野を持つことができた」と回答した生徒の割合が80%以上である。
- (活動計画)**
- 1 学校行事の事前・事後にアンケートを実施し, 生徒自身に自らの取組についての状況を把握させ, 今後の活動に生かせるようにする。
 - 2 ホームルーム担任や部活動顧問が生徒の人間関係をよく観察し, 適切な方向に導く。
 - 3 部活動の活動時間を遵守し, 各部で学業との両立が実現できるように工夫する。
 - 4 充実した地球市民講座の内容を精選し計画する。

学力向上・進路指導・キャリア教育

- (重点目標) 1 主体的な学習習慣の確立と確かな学力の育成を図る。
2 自己のキャリア形成を推進し、早期に進路目標を設定させ、主体的に自分の進路を決定させる。
3 社会に貢献できる人材の育成に向けて生徒の個性や創造力を伸長させ、進路希望を実現させる。
- (評価指標) 1 ①家庭学習1時間以上の生徒が、90%以上、学年平均家庭学習「(学年)+2」時間以上の生徒が50%以上である。
②「午後9時までに家庭学習を始める」習慣が身に付いている生徒の割合が70%以上である。
③「学校の授業内容を理解している」と回答した生徒の割合が80%以上である。
④1・2年生の学年単位で、補習の出席率が95%以上である。
⑤校外模試における各科目の校内平均点が、全国平均以上である。
2 ①1・2年次にオープンキャンパスや看護体験、大学の講座、または体験授業等の活動に1回以上参加した生徒の割合が100%である。
②ポートフォリオを利用し、校外での活動の振り返りを行う生徒の割合が100%である。
③2年生の11月末の進路調査で、「進路目標が明確になっている」と回答した生徒の割合が95%以上である。
④英語外部検定試験への対応として、2年終了までに英語の資格試験やアセスメントを受験した生徒の割合が100%である。
3 就職希望者や保護者と定期的に面談を行い、2学期末までに就職未決定者が0名である。
- (活動計画) 1 ①進路説明会等で家庭学習の現状とその重要性を保護者に十分理解してもらい、協力を要請する。
②家庭学習記録や生活実態調査を通して、現状の把握に努める。家庭学習時間が1時間未満の生徒には、保護者と連携しながら面談を実施し、原因の解明と改善を図る。
③「予習」「授業」「復習」の学習スタイルを確立させ、課題や確認テストを実施し、授業内容の理解、定着を図らせる。
④補習に参加することの重要性を繰り返し指導する。
⑤校外模試実施後に間違えた箇所の見直しをさせる。教科会で対策を練る。
2 ①「将来の自分の生き方」を考えさせるとともに、体験的活動の情報提供に努め、2年生終了までには必ず1回は参加させる。
②ポートフォリオの意義とその利用方法を周知し、振り返りと記録を徹底させる。
③「若楠」や「進路ニュース」を活用し、進路意識の高揚を図る。
④英語外部検定試験の重要性を生徒に周知し、受験機会を確保して、積極的な取組を促す。
3 ①望ましい職業観・勤労観の育成に向け、職業別説明会(1年)、公務員セミナー、就職ガイダンス(2・3年)等の体験活動により、職業理解や働く意義を学ばせる。
②就職・公務員模試を年間6回実施し、進路を実現する確かな学力の向上を図る。



心とからだの健康

- (重点目標) 1 自分の心や体の健康に関心を持ち、課題解決に向けて実践できる生徒を育成する。
2 生徒が心身ともにはつらつとした学校生活を送れるよう支援する。
3 生徒が充実した学校生活を送れるよう支援する。
- (評価指標) 1 ①「自分の心やからだの健康に関心を持ち、健康な生活を心がけている」に「あてはまる」と回答した生徒の割合が85%以上である。
②「学校は生徒の安全や健康管理に十分注意している」及び「学校では健康や安全に配慮した指導が行われている」について「あてはまる」と回答した生徒及び保護者の割合が85%以上である。
2 ①カウンセリングデーで、教員の相談室待機が100%である。
②不登校傾向にある生徒や気になる生徒の把握をして、カウンセリングの実施など適切な支援を図る。
③不適応の症状が見受けられる生徒の把握に努め、早い段階で校内の関係者と連携を図る。
3 福祉的な募金活動に年2回以上協力する。
- (活動計画) 1 生徒保健委員会において生徒の自主的な活動を推進し、保健意識の向上や啓発を図る。
2 ケース会議を随時開催する。必要に応じてスクールカウンセラーや関係機関との連携を図る。
3 厚生委員の活動として計画し、厚生委員会活動の充実を図る。



環境・防災教育

- (重点目標)** 1 SDGsへの理解を深め、校内外の環境美化及び環境問題に取り組む態度と実践力を育成する。
2 防災教育を推進し、身近に潜む危険から自らの身を守るのみならず、災害発生時及び事後に、進んで他の人々や地域の安全に役立つことができる人材を育成する。
- (評価指標)** 1 ①節電・節水を意識した学校生活を送り、前年度比3%使用量を節減する。
②年間8回以上「ゴミゼロの日」を設定し、学校全体で環境問題について考えさせるとともに環境・防災委員以外の参加生徒が毎回60人以上である。
2 ①地震・津波及び地震・火災対応避難訓練を、それぞれ1回早期に実施する。
②校外で行われる防災関係の行事を案内し、参加生徒が15名以上である。
- (活動計画)** 1 ①掲示物や環境・防災委員からの声かけ等により、トイレでの日中の節電や移動教室時の消灯、節水の徹底を呼びかける。
②総合的な学習（探究）の時間で、SDGsへの関心を高めるとともに知識を深め、身近な環境問題に取り組ませる。
2 学校行事やホームルーム活動の時間を利用し、専門家の講演やDVD等の防災教材により、様々な危険や災害に自主的に対応できるよう防災意識の向上を図る。



国際理解教育

- (重点目標)** 1 国際交流に積極的に取り組み、グローバルマインドを持った生徒を育成する。
2 異文化の中で生活できる機会を提供する。
- (評価指標)** 1 「国際交流関連事業は、グローバルな視野の育成や異文化理解に役立っている」と回答した生徒の割合が60%以上である。
2 海外研修（語学研修・派遣を含む）の参加者で「満足した」と答える生徒が90%以上である。
- (活動計画)** 1 ①外部講師を招いて、生徒にグローバルな視点で社会事象を捉えたり、発言したりする。
②海外学生等を受け入れ、国際英語科、普通科ともに異文化を学ぶ。
③海外高校生とのICT機器を利用した交流を通して異文化理解を深める。
2 ①より安全にプログラムを遂行するために、現地との連携や情報収集に努める。
②海外研修の説明会など、情報提供を充実させる。
③事前指導を3回以上実施し、より充実した体験ができるよう準備する。

読書啓発

- (重点目標)** 1 図書館利用を通して、学力の基盤となる読書習慣の育成を図り、将来にわたって主体的に学ぶ態度や読書を楽しむ態度を身につけさせる。
2 生徒が新聞記事を読み活用するきっかけづくりをする。
- (評価指標)** 1 ①一人あたりの図書館の年間利用回数を、8回
②授業の図書館利用が、80回
2 ①「新聞を読み活用することは有意義であると思う」と答えた生徒が60%以上である。
②図書委員の協力を得て、気になる新聞記事や注目の新聞記事を月1～2回展示する。
- (活動計画)** 1 図書館に置く本を充実させ、「図書館だより」「新着図書案内」や掲示で広報する。
2 新聞を読み活用しやすい図書館内の環境を整える。



「学校評価」今後の予定

5月18日（土）	PTA 総会で、今年度の評価計画を説明
5月下旬	ホームルーム活動で、生徒に今年度の評価計画を説明
6月下旬～7月上旬	第1回授業評価アンケート
12月上旬	第2回授業評価アンケート・学校評価アンケート（生徒、保護者、教職員）
1月下旬～3月上旬	学校評価結果作成、学校評議員会での学校関係者評価作成
3月末	学校評価結果公表（リーフレット・ホームページ）



徳島北高校
イメージキャラクター
はっばちゃん

このリーフレットに対するお問合せ

徳島北高等学校 学校評価委員会

〒771-1153 徳島市応神町吉成字中ノ瀬40-6 電話 088-698-8004